

令和2年度

運営に関する計画・自己評価 中間反省

目標別シート

視点 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

- (1) 校長・教頭・事務長（校務運営委員会） p. 1
- (2) 教 務 部・・・・・・・・ p. 2
- (6) 健康教育部・・・・・・・・ p. 3
- (8) 英 語 科・・・・・・・・ p. 4
- (9) 流通経済科・・・・・・・・ p. 5
- (10) 情報科学科・・・・・・・・ p. 6
- (11) 教育情報科・・・・・・・・ p. 7
- (12) 国 語 科・・・・・・・・ p. 8
- (13) 地 歴 公 民 科・・・・・・・・ p. 9
- (14) 数 学 科・・・・・・・・ p. 10
- (15) 理 科・・・・・・・・ p. 11
- (16) 保健体育科・・・・・・・・ p. 12
- (17) 家 庭 科・・・・・・・・ p. 13
- (18) 芸 術 科（書道・美術・音楽） p. 14
- (19) 1 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 15
- (20) 2 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 16
- (21) 3 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 17

視点 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

- (1) 校長・教頭・事務長（校務運営委員会） p. 18
- (3) 総 務 部・・・・・・・・ p. 19
- (4) 生 徒 指 導 部・・・・・・・・ p. 21
- (5) 進 路 指 導 部・・・・・・・・ p. 23
- (6) 健康教育部・・・・・・・・ p. 24
- (7) 人権教育推進委員会・・・・・・・・ p. 25
- (8) 英 語 科・・・・・・・・ p. 26
- (9) 流通経済科・・・・・・・・ p. 27
- (10) 情報科学科・・・・・・・・ p. 28
- (11) 教育情報科・・・・・・・・ p. 29
- (17) 保健体育科・・・・・・・・ p. 30
- (19) 1 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 31
- (20) 2 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 32
- (21) 3 学 年 担 任 団・・・・・・・・ p. 33

大阪市立西高等学校

令和2年10月

【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

(1)【校長・教頭・事務長】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 英語科、流通経済科、情報科学科、教育情報科の各専門学科において、大学での専門教育に繋がる指導内容を取り入れる。</p> <p>② 進路保障のための補習体制等の充実、外部講師の積極的活用、資格・検定取得率の向上を図り、進学実績を前年度より向上させる。また、今年度も就職希望者の内定率100%を達成する。</p> <p>③ 新型コロナウイルスの状況にもよるが、海外姉妹校との交流方法を検討し、可能な範囲で継続する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>大学での専門教育に繋がる指導内容を取り入れながら、授業の充実や組織的な補習体制を充実させ、英語科、流通経済科、情報科学科、教育情報科の各専門学科の資格・検定取得率の向上を図る。</p> <p>指標 各検定における取得率の向上 英語科：実用英語検定 流通経済科：日商簿記検定・全商簿記検定 情報科学科：経産省ITパスポート・全工情報技術検定 教育情報科：実用英語検定・全工情報技術検定 資格取得状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>学習意欲や進路意識を高め進学実績を向上させるため、外部講師による講演会等や大学見学会等の実施を図る。また、面接指導の充実を図り、昨年度に続き、就職内定率100%を達成する。ただし、新型コロナウイルスの状況によって、実施形態や実施時期は臨機応変に対応する。</p> <p>指標 前年度より進学実績を向上させる。 就職希望者の内定率100%を達成する。 進学・就職状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容③【施策6 英語教育の強化】</p> <p>オーストラリアの姉妹校（バイビューカレッジ）への生徒の派遣や姉妹校（パークデールセカンダリーカレッジ）からの訪問団の受け入れは、新型コロナウイルスの影響によって厳しい状況である。状況によって、インターネットを活用した交流など可能な範囲で実施したい。</p> <p>指標 取り組みを進め、海外姉妹校との交流状況をホームページで紹介する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(2) [教務部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 組織的な学校運営を行い、新学科、新教育課程の内容を熟考し、社会の変化に対応できる人間を育成する教育活動を推進する。 データシステム部統合により、入試処理・成績処理・調査書作成の各システムを改良するとともに、システム間でもデータの共用化など連動部分を強化する。また選択科目システム・時間割作成システム・名列表作成システムのデータ共通化と操作性の向上をめざす。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 教育活動のための時間確保】 授業時間数の確保を考え、年間行事を計画する。 指標 曜日ごと・時限ごとの実時間数を数え上げ、バランスがとれるように曜日変更などで調整する。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 教育活動のための時間確保】 新教育課程の実施に向けての内容を検討する。 指標 第2希望に移る生徒の数を減らすように、選択科目ブロックの調整をする。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 教育活動のための時間確保】 追認対象者を減らすとともに、その指導を徹底する。 指標 追認対象者に対し全体説明を行い、その後各教科からの説明を行って複数の立場から指導する。</p>	B
<p>取組内容④【施策5 教育活動のための時間確保】 入試・選択科目・時間割作成・名列表作成システムのデータ一元化と修正をする。 指標 学校全体の校務で扱っているデータを総合的に理解し、効率的に一元化する。</p>	B
<p>取組内容⑤【施策5 教育活動のための時間確保】 成績処理・調査書作成システムの改良をする。 指標 通知票の様式変更、調査書の仕様変更に対応する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(6)〔健康教育部〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 定期健康診断での事後措置で、精検を指示された生徒へ早期受診を促し、学習に支障のないように指導する。</p> <p>② 慢性疾患を持つ生徒には自己管理ができるように定期的に懇談し、心身の安定を図るよう指導する。</p> <p>③ 心の健康に問題を抱える生徒には、個々に応じたアプローチをし、行動化に結び付くような指導を心がける。</p> <p>④ 生涯にわたってよりよく生きるために、健康を維持するための正しい知識を身につけるとともに、余暇の過ごし方も含めた基本的な生活習慣を定着させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>定期健康診断での有所見者に対して、個別指導を数回にわたって行い、受診の必要性について理解させたうえで、早期受診に結び付ける。</p> <p>指標 今年度中に50%以上の受診率をめざす。</p>	B
<p>取組内容②【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>保護者・主治医・担任・教科担当者・部活動顧問で情報の共有化を図り、体制作りをする。生徒本人とも定期的に懇談する機会を設けて管理状態を相互チェックし、必要に応じて指導を行う。</p> <p>指標 個別の指導計画を作成し、共有化する。</p>	B
<p>取組内容③【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>心の健康について欠席状況や担任から情報を得る。心因性が疑われる場合には、保護者やスクールカウンセラーを交えて連携を図り、早期に対応する。</p> <p>指標 一週間ごとに保健室来室状況を担任及び学年に連絡する。欠席が続く生徒には個別の面談を行う。</p>	B
<p>取組内容④【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>食、睡眠、自己実現、人・社会との繋がり的重要性を、様々な角度から認識させる機会を作り、行動化・習慣化につながる体験をさせる。</p> <p>指標 配布物・掲示物の工夫。学校保健関係者の協力を得て、講演会・講習会などを計画実施し、全教職員にも周知する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(8) [英語科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 効果的な授業案や指導により、英語の運用能力を身につけさせ、英語検定の合格率を、前年度の水準より上げる。</p> <p>② 生徒の希望を実現できる進路指導やガイダンスを行う。</p> <p>③ 組織的な補習体制を組み、生徒の進路実現を支援するため、週1回以上の補習をする。</p> <p>④ 日本文化を発信し、異文化を正しく理解する機会（教材、プレゼンテーション）を増やす。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策6 英語教育の強化】</p> <p>少人数制のコミュニケーションの授業や流通経済科・情報科学科コミュニケーション英語Ⅱの授業で、生徒が積極的にコミュニケーションをとることを促す指導案や活動の計画をたてる。英語検定の合格率を前年度より上げる。またLL設備を見直し、英語教育の更なる充実を図る。オンラインによるアセスメントを行う。第2学年において、オンライン英会話を実施する。X reading 等を活用した多読指導を行う。Edmodo や Quizlet などを用いて自学自習を促す。</p> <p>指標 週に2回程度（英語科）CNET との少人数制授業を実施する。英語検定合格者数をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容②③【施策6 英語教育の強化】</p> <p>組織的な補習体制を組み、進学に向けて意識を高める。より多くの生徒の学力向上をめざして支援する。また進路実現に向け、指導を充実させる。</p> <p>指標 補習は週1回以上。また長期休暇中に集中講座を行う。</p>	B
<p>取組内容④【施策6 英語教育の強化】</p> <p>授業で他国や自国の文化を発表するプレゼンテーションを行う。また、異文化を学ぶ教材を取り入れ、異文化を正しく理解する態度を養う。英語でのプレゼンテーションに加え、効果的なプレゼンテーションができることを目標とする。</p> <p>指標 他国や自国の文化を発表するプレゼンテーションを多く行う。各国の行事を体験するイベントを年に数回行う。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(9) 〔流通経済科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 科で作成した学習ロードマップに基づいた指導の徹底。簿記・英語検定合格率の向上。英語科（全商英検、STEP英検）との連携。</p> <p>② 流通経済科の教員で、受験指導ができる体制を整え、AO入試・専門科推薦への受験指導を徹底する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>簿記検定においては流通経済科の教員全員で補習等を実施し、情報処理検定やその他の検定との連携をとる。</p> <p>指標 全商簿記検定と全商情報処理検定のいずれかの1級合格者が前年度を上回るようにする。取得状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>AO、推薦入試方式が多様化し、志望動機・小論文における流通経済科的知識が求められる。個々のきめ細やかな指導が必要になり、科で担当生徒を決め、個別対応できるようにする。</p> <p>指標 AO、推薦入試を前年度以上の受験者数をめざす。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(10) [情報科学科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 本年度はIoTの分野に力を入れるため、3Dプリンタに加え導入したレーザー加工機を使用し、モノづくりの部分について強化する。また、作品提出型の入試に提出できる作品の制作を促す。</p> <p>② 本年度も関西大学との高大連携によるハイスクールハッカソンを実施する。</p> <p>③ 情報分野の国家試験や情報技術検定の受験を促し、合格者数を増加させる。</p> <p>④ 卒業後の進路について、将来の職業やそれにつながる進学先などの具体的なイメージを持たせ、生徒個々の進路希望に応じた個別指導の充実を図る。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策6 ICTを活用した教育の推進】</p> <p>電子工作実習や課題研究など多くの授業で3Dプリンタやレーザー加工機を活用する。課題研究の作品クオリティを高め、作品提出型の入試への挑戦を促す。</p> <p>指標 工作機器を用いた生徒作品を完成させる。 作品提出型での受験生を増加させる。</p>	B
<p>取組内容② 【施策8 大学連携の推進】</p> <p>本校に工作機器等が揃ってきたため、昨年度まで関西大学で実施していたハイスクールハッカソンの会場を本校に移して実施する。</p> <p>指標 本校でハイスクールハッカソンを実施し、生徒アンケートで高評価を得る。</p>	C
<p>取組内容③ 【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>資格取得に向けた補習の実施やeラーニングの提供をおこない、昨年度合格者が減少したITパスポート試験の合格者を増加させる。また、情報技術検定1級の合格者数や基本情報技術者などの上位資格の合格者実績を維持する。</p> <p>指標 ITパスポートの合格者数が前年度を上回るようにする。情報技術検定1級の合格者数を10名以上にする。取得状況をホームページで公表する。</p>	B
<p>取組内容④ 【施策2 キャリア教育の推進】</p> <p>多様化する進路実現の方法を踏まえ、進路ガイダンスやディスカッションを通して具体的な進路の意識を高めさせる。また、情報科学科の全教員で個別指導を積極的におこない、各生徒の事情・希望に応じた進路を実現させる。</p> <p>指標 年度末において、進路未決定の生徒を減少させる。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(11) [教育情報科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 1年生では、パソコンを無理なく扱える情報リテラシーを習得する。また、ビジュアルプログラミングから始め、楽しみながらプログラミングやハードウェアの基礎的な知識を習得する。</p> <p>② 主体的、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする姿勢を育成する。日常的话题や社会的な話題について、話し手や書き手の意図を的確に理解したり、情報や考えを適切に表現できる基礎的な力を身につける。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策6 ICTを活用した教育の推進】</p> <p>基本的なパソコン操作やタイピングを習得し、Office系ソフトを使いこなすリテラシー能力を習得する。また、ビジュアルプログラミングからC言語に発展させ、情報技術検定の取得を目指す。</p>	B
<p>指標</p> <p>P検3級の合格率を100%にする。</p> <p>自分の選択した級における情報技術検定の合格率を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【施策6 英語教育の強化】</p> <p>少人数制のコミュニケーションの授業で、生徒が積極的にコミュニケーションをとることを促す指導案や活動の計画をたてる。多読指導を行うことで、英語に触れる機会を充実させるとともに、言語や文化に対する理解を深める。GTECやオンラインによるアセスメントを行い、4技能全体の伸長を目指す。</p>	B
<p>指標</p> <p>週に2回程度CNETとの少人数制授業を実施する。英語検定合格者数をホームページで公表する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(12) [国語科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 漢字や現代用語、古文単語などの語彙の学習により、基礎的な国語力の向上をめざす。</p> <p>② 読解力と共に論理的思考力・表現力を身につけさせ、ものの見方・考え方を深める。</p> <p>③ さまざまな作品・文章に触れることで、想像力を養い言語感覚を磨いていく。</p> <p>④ 生徒の進路希望状況に応じて、個別指導や補習を実施する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】</p> <p>漢字問題集を長期休業中の課題として学習し、提出させる。</p>	B
<p>指標</p> <p>範囲を定め、定期的に問題集に基づいた小テストを行い、各定期考査にも出題して定着度を確認する。</p>	
<p>取組内容②【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】</p> <p>教材を読み、学んだことをもとに自分の考えを文章にまとめさせる。</p>	B
<p>指標</p> <p>各定期考査、小テスト、提出物等で確認する。</p>	
<p>取組内容③【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】</p> <p>各種コンクール等に応募する機会を与え、さまざまな図書に触れたり創作活動をしたることで表現力を身につけさせる。</p>	B
<p>指標</p> <p>休業中の課題として読書感想文を課し、短歌・俳句などの創作活動にも取り組む。</p>	
<p>取組内容④【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>生徒の進路希望状況に応じた小論文指導や、進学者を対象とした補習を実施する。</p>	B
<p>指標</p> <p>昼休みや放課後を利用した個別指導や、夏季休業中等に進学補習をおこなう。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
限られた時間の中で、休業中の個別指導や課題への取り組みを積極的に行った。読書感想文コンクール・短歌コンクール・「おーいお茶」新俳句コンテストなどに入賞者が出るなど、生徒たちも積極的に取り組んでいた。
次年度への改善点
夏季休業が短く進学者対象の補習が実施できなかったため、個別の対応となった。デジタル教材や、プロジェクタ・モニターを効果的に用いて、授業に役立てたい。

(13) [地歴公民科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上</p> <p>① 各必修科目において高校での地歴公民学習への導入と動機づけを行う。</p> <p>② 2年の「世界史A」の授業において、世界の近現代の歴史を我が国の歴史との相関を踏まえながら、現代社会の諸問題の原因等に着目して考察させる。</p> <p>③ 3年の「日本史A」の授業において、我が国の近現代の歴史を世界の歴史と関連づけながら、現代社会の諸問題に着目して考察させる。</p> <p>⑤ 演習等の選択科目の授業において、「地歴公民科」を大学入試の受験科目とする3年生を対象として、放課後や夏季休業中を利用して、補習を実施し授業開始が遅れた部分を補い共通テストにも対応する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 教育活動のための時間の確保】</p> <p>小テストなどを通じて、中学校での基礎的知識の確認を行う。また、白地図(日本地図・世界地図)を利用した作業も行う。</p> <p>指標 各学期を通じて行う。</p>	B
<p>取組内容②【施策3 社会的包摂と現代的・社会的課題についての学習】</p> <p>新聞やインターネットを利用しながら、最新のニュースを取り上げて、授業に生かす。また、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことに対応して、政治的教養を育む教育を行う。</p> <p>指標 社会で問題となる事象が起きた時に、それを取り上げる。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】</p> <p>近代社会が成立し発展する過程を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて考えさせ、ものごとを実証的な考察によってとらえる歴史的思考力を身に付けさせ就職・進学ともに対応できる能力を養う。</p> <p>指標 ともすれば堅苦しくなりがちな授業に、必要に応じてエピソードや逸話、また視聴覚教材等を取り入れながらすすめる。</p>	C
<p>取組内容④【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>放課後や夏季休業中を利用して補習を実施し、地歴公民科を利用した私立大学の一般入試や共通テストでの高得点をめざす。</p> <p>指標 私大一般入試や共通テストを利用する生徒を昨年度より増やし10人程度にまで増やす。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(14) [数学科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 机間指導や小テスト等で生徒の理解度を把握し、授業内容に反映する。</p> <p>② 学習の動機づけとなる話題や教材を生徒に提示する。</p> <p>③ 復習を習慣づけるため、できるだけ頻繁に課題を与える。また問題集を有効に利用し、各定期考査後または長期休業後に解いたものを提出させ、自主学習の習慣をつけさせる。</p> <p>④ 理解度や進路希望等を考慮し、放課後や長期休業中に補習等を行う。</p> <p>⑤ 看護・医療系志望や高専志望、専門学科推薦での受験をする生徒に対して、年間を通じて目的を達成する時期まで補習を行う。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策5 理数教育の充実】</p> <p>生徒の理解度は学科によっても異なるので、個々に理解度を把握しながら、授業内容を充実させていく。</p> <p>指標 考査成績について、昨年度との比較および学科間の比較をしていく。</p>	B
<p>取組内容② 【施策5 理数教育の充実】</p> <p>数学科内で、授業形式・教材や生徒の状況について、連携しながら進めていく。</p> <p>指標 共有できるものはデータとして蓄積していく。</p>	B
<p>取組内容③ 【施策5 理数教育の充実】</p> <p>单元ごと、考査ごと、長期休業ごとに、問題集や課題プリントなどの課題を与えて、確認し指導する。</p> <p>指標 考査ごとや長期休業ごとに、課題を提出させて確認し指導する。</p>	B
<p>取組内容④ 【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>成績不振生徒に対して、考査後の補習や長期休業中の補習を行う。</p> <p>また希望生徒に対して、進路希望に応じて個別または進路別に補習を行う。</p> <p>指標 成績不振生徒の補習や課題提出を考査ごとに実施する。</p>	B
<p>取組内容⑤ 【施策5 理数教育の充実】</p> <p>看護・医療系志望や高専志望、専門学科推薦での受験をする生徒に対して、早い時期から進路決定するまで補習を行い、志望校への合格をめざす。</p> <p>指標 対象校への志望者の全員合格をめざす。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(15) [理科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 小テスト・宿題を実施し、基礎事項の理解・定着を図る。</p> <p>② 実験、観察などで、安全に対する意識の徹底を教育すると共に、基礎事項の理解を深める。</p> <p>③ 放課後・昼休み・長期休業中を利用した補習を行い、進学希望者に対しては大学入試レベルの実力を、理解が不十分な生徒には基礎学力をつけさせる。</p> <p>④ 視聴覚教材を活用し、環境問題、感染症、エネルギー問題等の時事問題にも、発展的学習として取り組む。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策5 理数教育の充実】</p> <p>小テスト・宿題を課し、基礎事項の理解・定着を図る。</p> <p>指標 単元ごとに、1週間に1度以上実施する。</p>	B
<p>取組内容② 【施策5 理数教育の充実】</p> <p>実験・観察をする。</p> <p>指標 安全教育を基盤に行う。</p>	B
<p>取組内容③ 【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>個々の状況に応じて、補習を実施する。</p> <p>指標 進学用補習は主に夏季休業中に実施する。基礎学力定着は各定期考査前後や必要に応じて、放課後等に実施する。</p>	B
<p>取組内容④ 【施策5 理数教育の充実】</p> <p>時事問題に取り組む。</p> <p>指標 視聴覚教材を活用する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(16)〔保健体育科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 自らの健康を維持するために保健内容を理解し、基本的な生活習慣を身につけさせる。</p> <p>② 体育理論の理解をとおして、体力の向上を図る。</p> <p>③ 正しいストレッチの方法を理解し、怪我の防止に努めさせる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>保健の授業をとおして、身体のしくみや健康寿命を延ばすための知識を身につけさせる。</p> <p>指標 各定期考査において、学習の理解度を確認する。</p>	B
<p>取組内容②【施策7 子どもの体力・運動能力向上のための取組みの充実】</p> <p>体育理論の授業をとおして、運動・スポーツの文化的特徴、学び方、豊かなスポーツライフの設計等の知識を理解させ、より効果的に体力向上が実現できるよう指導する。</p> <p>指標 年間をとおして保健体育の教科書・体育編の授業を実施する。</p>	B
<p>取組内容③【施策7 子どもの体力・運動能力向上のための取組みの充実】</p> <p>ストレッチの重要性について理解させ、怪我の予防に努めさせる。</p> <p>指標 ストレッチが正確に実践されているか、毎時間確認する。</p>	B
<p>取組内容④【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>睡眠・食事の重要性を理解し、自主的に生活習慣を整えさせ、欠席・遅刻・見学することなく授業が受けられるよう指導する。</p> <p>指標 授業のはじめに欠席・遅刻・見学者の状態や体調確認を行う。</p>	B
<p>取組内容⑤【施策7 子どもの体力・運動能力向上のための取組みの充実】</p> <p>スポーツテストを実施し、自己の体力を把握させることで、基礎体力の向上・維持を図る。準備運動・補強運動を正確に行うよう指導する。水泳・持久走の補習を徹底して行うことで、基礎体力の向上を図る。</p> <p>指標 準備運動・補強運動の様子を観察する。スポーツテストの記録を比較し、体力の向上を確認する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(17)【家庭科】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 生徒が関心を持って取り組めるような題材を取り上げ、家庭生活に応用できる力を身につけさせる。</p> <p>② 実験・実習は、生徒が主体的に取り組むことができるよう内容を工夫する。</p> <p>③ 家庭生活中で生かす実践力の重要性を理解させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>日常生活において実践できるような身近な教材を取り入れ、イメージしやすい状況をつくり、生徒が家庭生活に応用できる力をつけさせる。</p> <p>指標 各定期考査やレポートなどにより学習の理解度を図る。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】</p> <p>実験・実習を通して知識や技術の修得に加え、計画や意思決定、結果の分析などができるような内容にし、生徒同士のコミュニケーションを通して学習への理解をさらに深めさせる。</p> <p>指標 家庭基礎では年4回程度、生活実践では年10回程度の実習・実験を実施し、生徒が積極的に取り組む機会をつくる。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>家庭生活中で活用できる実践力を身に付けさせ、生活力の重要性を理解させる。</p> <p>指標 各定期考査やレポートなどにより学習の理解度を図るとともに、実践的な力を実習で身に付けさせる。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(18) [芸術科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 書道書道に意欲的・主体的に関われる生徒を増やす。 ② 書道完成度を高め、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書の学習に個性的な思考・判断ができる生徒を増やす。 ③ 美術道具・素材を生かし創造的な表現をするために必要な技術を身につけた生徒を増やす。 ④ 美術美術に意欲的・主体的に関われる生徒を増やす。 ⑤ 音楽音楽に関心を持ち、どのようなジャンルでも意欲的に取り組める生徒を増やす。 ⑥ 音楽音楽の基礎を身につけて、読譜力、ソルフェージュ力を増やす。 ⑦ 音楽合唱作品に取り組み、自然に協調性を身につける。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 筆と半紙だけでなくいろいろな用具・用材を使って興味をもたせつつ、日常生活で使えるものから古典的なものへと多種にわたる書道を指導する。 指標 定期考査で半分以上の生徒が高得点をとる。学期ごとに2点以上の作品を完成させる。(3学期は期間が短く1点)</p>	B
<p>取組内容②【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】 筆と半紙だけでなくいろいろな用具・用材を使って個性的なものにしつつ、さらに外部の展覧会に出品することを目標にすることで作品をまとめる力を身につける。 指標 学期ごとに1度は外部の展覧会に出品する。</p>	B
<p>取組内容③【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 ・それぞれの課題に応じた作品を作り技術を身につけていく。 ・多くのものに触れて感性を磨く。 指標 学期ごとに約2作品を制作完成させる。スケッチブックが3学期にはすべて埋まるように感じたもの描きとめていく。</p>	B
<p>取組内容④【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】 ・作品を学校外で発表することで意欲を持たせ完成度をあげる。 ・制作だけではなく、展覧会を見に行ったり、美術に関することを調べたりして興味を持たす。 指標 文化祭、芸術祭に選択生徒の半数が展示する。レポートを3学期までに1つは書き上げる。</p>	B
<p>取組内容⑤【施策2 音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出】 交響曲、協奏曲などいろいろな音楽の鑑賞をする。オーケストラの奏でる音色や、立体的な音楽構造を感じ取る。 指標 授業回数：2時間 頻度：1カ月に2作品程度 取り組む人数：個人</p>	B
<p>取組内容⑥【施策2 音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出】 五線譜の理解、リズムの理解等に取り組む。 指標 授業回数：毎回 頻度：1学期・2学期中 取り組む人数：個人</p>	B
<p>取組内容⑦【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進】 自分たちでグループを組み、合奏や合唱など自由な編成で音楽活動に取り組む。 指標 授業回数：10回 頻度：2学期中 取り組む人数：2～10人程度</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(19) [1 学年担任団]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 情報と英語の両分野における基礎知識を定着させて、2分野において次年度以降の発展的な学習につながる学力をつけさせる。</p> <p>② 生徒の適性、興味関心を見極め、適切な情報提供を行い、積極的な課外活動への参加を促す。</p> <p>③ 進路決定の際に、自らの専門性をより効果的に生かすために、基礎学力を高めるよう促す。</p> <p>④ 挨拶、言葉遣い、礼儀の大切さを十分理解させる。</p>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>情報、英語の教科担当者と連携して、専門教科2分野の遅れがある生徒への補習体制を整備する。定期考査ごとに対象生徒を把握し、フォロー体制を作り学年終了時点で2分野への苦手意識を減らす。</p> <p>指標</p> <p>定期考査ごとにフォロー対象になる生徒を減らしていけるようにし、学年終了時点でフォロー対象生徒を1割以内に収める。</p>	B
<p>取組内容②【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>4人の担当でサポートし、生徒各々の適性、興味関心を見極めて、課外活動などへの参加を促す。</p> <p>指標</p> <p>入学後、適性、興味関心を確認し、信頼関係構築のために、1学期中に学年団で全員と面談を行う。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>スタディサポートを有効的に活用するために模擬テストの事前、事後指導をデータに基づき綿密に行う。さらに進路行事などを通じて専門教科以外の普通教科に関しても大切さを認識させる。また、朝学に学年全体で取り組めるように、交代で教員の朝学当番を設置し、毎日の習慣づけを行う。朝学を活用し、苦手分野の克服を図る。</p> <p>指標</p> <p>スタディサポートの事前事後説明会を行う。</p> <p>スタディサポートの事前課題を丁寧にチェックして、完全な提出状況を作る。</p> <p>毎朝、全員が8:25に着席して、学習体制に入っている状態を作る。</p> <p>毎日、全員が朝学の提出を行うようにする。</p>	B
<p>取組内容④【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>登下校時の挨拶、教員に対する言葉遣い、他人に対する礼儀について、学年全体でも、個別でも、機会があるごとに説明し、理解を促していく。</p> <p>指標</p> <p>多くの生徒が挨拶、丁寧な言葉使い、礼儀について自主的に行動できるようになる。</p>	C
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(20)〔2学年担任団〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝学習を継続し、基礎学力の定着をさらに深めるとともに、より専門的で高度な学力の向上をめざす。自主的に1日最低1時間の家庭学習をおこなう習慣を身につけさせる。 日々の学習を基にしなが、自主的に能動的な学習をする姿勢を育成し、自ら進路を見いだす姿勢につなげさせる。 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>引き続き朝学習を実施し、英語、国語、計算、時事の他に、専門学科の日も設け、基礎学力の定着を図る。朝学習の習慣から自主的な学習の意義を理解させ1日最低1時間の家庭学習の習慣にもつなげていく。</p>	B
<p>指標 朝学習の定着と家庭学習習慣の定着とともに提出物の確実な提出。学習内容の8割以上の理解をめざす。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容②【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>1年生からの自らの学習状況を基にして、進路を見いだしていくための自主的、能動的な学習の必要性に気付かせるとともに、生徒個々の進路状況を把握しながら必要に応じて指導を行う。</p>	B
<p>指標 自主的、能動的な学習と進路研究ができるよう指導する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(21) [3 学年担任団]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>① 朝学習を継続するとともにその内容も精査し、基礎学力の定着および専門的で高度な学力の向上をめざす。また、自己実現、希望進路実現のための家庭学習の必要性を認識させ、自ら進んで能動的に、毎日最低2時間程度は家庭学習をおこなう習慣を身につけさせる。</p> <p>② 生徒一人ひとりの進路の目的を把握し、保護者・進路指導部と十分な連携をとりながら、希望進路実現のための的確な支援を行えるよう配慮する。</p>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容① 【施策5 放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>引き続き朝の学習時間を設定し、英語、国語、時事関連や専門学科の基礎知識の定着を図る。基礎学力の不足については、自主的に放課後等を利用した学習や家庭学習をおこなう習慣を身につけさせるとともに、生徒個々の進路状況を把握し、必要に応じて指導も行っていく。</p> <p>指標 学習内容の8割以上の理解。提出物の確実な提出。毎日2時間程度以上の家庭学習時間の確保。</p>	B
<p>取組内容② 【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>希望進路実現に向けて知識や学力を高めるために、進路指導部と連携し、講話等の指導を適宜行う。保護者や進路指導部と十分な連携をとりながら、的確な支援を行う。1学期中に生徒全員との進路に関する懇談を実施し、生徒一人ひとりの進路希望を実現させる。</p> <p>指標 生徒全員の希望進路が実現できるように指導する。</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

(1)【校長・教頭・事務長】

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 挨拶の励行、皆勤・精勤者の増加、遅刻者の減少を図り、前年度より向上したことを検証する。</p> <p>② 学科改編・創立100周年・統合移転と西高校の大きな変革期にあたり、在校生は当然のことながら、保護者・地域の皆さんにも、西高校の情報提供の機会を増やし、理解をいただく工夫を推進する。</p>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>生徒指導部・各学年担任団・各学科・各教科の協力体制によって、登校指導・挨拶運動の実施・授業内での道徳教育等の取り組みを実施し、アンケート調査等により改善率を検証する。</p> <p>指標 今年度の皆勤・精勤率50%以上。1日当たり平均遅刻者数5人以下。</p>	C
<p>取組内容②【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>総務部・各学年担任団・各学科・各教科の協力体制によって、学校での学習活動の様子の広報に努める。</p> <p>指標 西高校のWebページでの情報提供を活性化し、週2回以上の更新に努める。また、新型コロナウイルスの状況によって検討を進めながら、説明会や体験入学、授業参観、文化祭、体育祭といった場面での外部公開の機会を可能な限り継続する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(3) [総務部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 本年度の国際交流事業を、来年度につながる形で遂行する。</p> <p>② 国際交流事業として姉妹校2校との交換留学・相互訪問・受け入れを、新学科への移行を視野に入れながら、計画・準備する。</p> <p>③ 中学校訪問について、過去のデータを吟味し、適切な時期など訪問計画を策定する。</p> <p>④ 教育活動への保護者の理解を深めるため、学年懇談会や授業参観を実施する。</p> <p>⑤ 新入生対象のアンケートを実施し、その結果を踏まえて広報活動・体験入学などの内容を精査し、内容の充実に努める。</p> <p>⑥ 体験入学チラシ・学校パンフレット・学校紹介ポスター等を新しく作成する。</p> <p>⑦ 生徒の感受性育成の一助として、全学年を対象とした視聴覚行事を実施する。</p> <p>⑧ 図書室の環境整備に取り組む。</p> <p>⑨ 大阪市立中央図書館と連携して、生徒の読書習慣の育成を推進する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>姉妹校パークデール校の本校への受け入れの際に、全校的に意識を高める。</p> <p>指標 全校的に派遣人数を確保したうえで、受け入れプログラムの意義を校内に周知する。</p>	D
<p>取組内容②【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>今年度のベイビュー校への訪問団の派遣と来年度の受け入れにおいても両校が連携し、交互にスムーズに実施できるように調整する。</p> <p>指標 隔年で、パークデール校・ベイビュー校の受入れ・訪問を実施する。</p>	D
<p>取組内容③【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>当該中学校卒業生の本校在学生の状況などの資料を作成し、学校説明会や体験入学に来てくれた中学生の中学校一覧を作成する。</p> <p>指標 本校を受験する生徒の数が多し中学校へ可能な限り訪問する。</p>	B
<p>取組内容④【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>本校生徒の保護者や中学生・その保護者の本校教育への理解を深めることを目標に、生徒の普段の姿を紹介できるような授業参観や体験入学など企画する。また、PTAや後援会との活動をさらに活性化し、チーム西高の意識を高める。</p> <p>指標 授業参観と体験入学の実施時期を考慮し効率化を図る。PTA 実行委員会を開催し、活動の充実に努める。</p>	C
<p>取組内容⑤【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>体験入学や学校説明会において、教育情報科の内容をさらにアピールできるよう学校紹介ビデオや体験内容の見直しをおこない、広報活動を積極的に推進する。また、新入生対象にアンケートを実施・分析し、それを踏まえてさらなる広報活動の充実を図る。</p> <p>指標 体験入学の内容を把握し、生徒の反応を調べ、今年度の体験入学に反映する。</p>	B

取組内容⑥【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】 各分掌から最新のデータを収集し、学校パンフレット、リーフレット(ポスター)を改善する。	B
指標 中学生に魅力が伝わるリーフレットやパンフレット、ポスターの作成。	
取組内容①【施策2 舞台芸術に親しむ機会の創出】 芸術鑑賞としてジャズの鑑賞会を実施する。	D
指標 ジャズに触れることで、舞台芸術に対する興味関心を高めるとともに、情操教育に役立たせる。	
取組内容②【施策3 学校図書館の活性化】 円滑な蔵書管理を行うために電算化の準備を進める。図書委員会を活用し、来館者数、貸出冊数の増加を図る。	B
指標 学校として読書感想文コンクールに参加することによって、読書習慣の定着をめざす。	
取組内容③【施策3 教育コミュニティづくりの推進】 大阪市立中央図書館の職員の方々と定期的に情報交換をしながら、生徒の読書習慣の定着につながる企画等を検討する。	B
指標 図書委員会で中央図書館への見学会を実施し、校内の活動に反映させる。また、大阪市立中央図書館の職員の方々と連携し、本の展示企画を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(4) [生徒指導部]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 遅刻0の日の増加をめざすとともに、服装、頭髪、言動の乱れをなくす。また、挨拶が1日の始まりとなるよう挨拶の励行を行う。</p> <p>② 全体集会や講演会で人権を尊重する大切さを訴え、他者を思いやる心の育成を図るとともに警察と連携し交通規則の順守、いじめや差別を許さない意識向上をめざす。</p> <p>③ 生徒指導部と全校生徒とのコミュニケーションをできるだけ密にとるように努め、事件が起こってからでの指導ではなく、事件を起こさないように事前の指導に力を注ぐ。問題行動の実態把握と未然防止に取り組む。また、SNSの危険性を伝え、利用にあたってのモラルの向上をめざす。</p> <p>④ 1年生の部活動加入率7割以上をめざす。また団活動、部活動を通じ学年を超えた協力関係を築き、リーダーシップや自主性、連帯感を養う。</p> <p>⑤ 生徒会執行部と各クラスの連携を深め、学校行事の運営に関わっているという自覚や責任感・充実感を持たせる。裏方で行事を支えてくれている人がいることを理解し、感謝の気持ちを持てる生徒を育てる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>登校時の教職員全員による校門指導、昼休みの校内巡視指導、始業式・集会時の服装・頭髪検査と学期を通じた継続指導、携帯のマナー指導、遅刻生徒への面談指導、早朝登校指導、などにより道徳心・基本的な生活習慣を身につけさせる。</p> <p>指標 遅刻者数1日当たり平均5人以下を目標に、基本的な生活習慣の定着を目指す。</p>	C
<p>取組内容②【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>毎月1回、学年と生徒指導部で連絡会を開催し情報交換を行い、生徒の状況を把握、いじめや問題行動を防止する。始業式、終業式において人権を尊重する大切さを訴える講話を行う。警察と連携し1年生への交通安全教育の開催、2年生へ薬物乱用防止教育など自己と他者の心身を尊重する意識を高める。</p> <p>指標 いじめ・いやがらせ・交通事故0、安心して平和な教室、学校を目指す。</p>	B
<p>取組内容③【施策1 いじめ・問題行動に対応する制度の活用】</p> <p>日々の生徒指導部と生徒とのやりとりの中で、一方通行の指導にならないように心がけ、生徒の気持ちを聞く余裕を持って指導にあたる。また、生徒指導部会等において他校と情報交換し問題行動の実態把握、未然防止に取り組む。</p> <p>指標 長期欠席者や、欠席・遅刻の増加傾向にある生徒の把握とその生徒一人一人に対応するよう最善をつくす。</p>	B
<p>取組内容④【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>合格者説明会、入学式当日の勧誘活動、部活動紹介を通じて体験入部を奨励する。</p>	

<p>月1回開催する部長会議においてリーダーシップを育成する。結団式を行うことで団活動の決意をかため、学年間の交流を深める。団長、生徒会役員のリーダーシップを育成する。年度内に次年度に向けたリーダー研修会を開催する。全生徒が部活動、団活動、学校行事へ自主的に取り組む姿勢を養う。</p> <p>指標 学業成績では見えない生徒の長所の発掘・開発。</p>	A
<p>取組内容⑤【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>生徒会定例会における計画立案指導、各種委員会の活動指導などにより、自主的な生徒会活動を実現する。行事ごとに、生徒会執行部等の活動を理解させる。風紀委員の早朝挨拶運動を継続する。</p> <p>指標 年度ごとに特色のある計画を立案し、実行する。</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(5)〔進路指導部〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 新型コロナウイルスによる混乱の中、一人ひとりの進路実現に向けて、きめ細かな進路指導・面談・補習等を実施し学力向上をサポートする。</p> <p>② 進路説明会を実施し、進学に対する目的・目標や職業意識等を育成する。</p> <p>③ 経済悪化による求人数減少が予想されるが、指定校企業やハローワークと連携を密にしながら就職実績を継続させる。</p> <p>④ 高大連携によって、生徒の学習意欲や目的意識を高め、適切な進路選択を支援する。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>進路面談を通じて生徒一人ひとりの希望を正しくとらえ、より適切な情報の提供・指導のもと進路実現を推進する。また、外部模擬試験の案内をおこない、客観的な学力の把握に努めさせる。</p> <p>指標 面接練習や進学書類の指導では、本年度立ち上げた進路委員会にお手伝いいただき個別指導の充実を図る。進学希望者には外部模擬試験の受験を勧める。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>各学年、様々な内容の進路説明会を実施し、学校や企業から講師を招くなど、進学・就職に関する各種説明会を行う。進学では本年度よりAO入試をはじめ入試制度が変更されるので、名称・実施時期の変更など理解の徹底を図る。</p> <p>指標 3年生にはAO入試・小論文対策講座・指定校推薦・大学共通テスト・看護医療系・公務員受験対策などの説明会を随時実施する。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>ハローワークや労働局主催による就職ガイダンス、応募前職場見学・企業研究などを通じて職業観・勤労観を身につけさせる。</p> <p>インターンシップ、キャリア教育等を実施し、職業観の育成を系統的・継続的に行う体制を整える。</p> <p>指標 新型コロナウイルスによる経済悪化の中、これまで就職している企業を中心に企業訪問を積極的におこない、これまで通り就職希望者内定率100%をめざす。</p>	B
<p>取組内容④【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>高大連携事業を積極的に活用する。</p> <p>大学の先生を招き、特別講義を通じて大学で学ぶことの意義を見出し、生徒の学習意欲や目的意識を高める。</p> <p>指標 特別講義を開催し、多くの生徒の参加を促す。</p>	C

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(6)〔健康教育部〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>美化・環境整備に関心を持ち、地域の防災リーダーになれるような取り組みを進める。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 環境を守る意識の醸成】</p> <p>安全で快適な校内環境の維持をするため、校内巡視をし、危険箇所や破損がないか定期的にチェックする。</p>	B
<p>指標 保健委員や設備美化委員が活動の一環として定期巡回や校内放送等の活用を行う。</p>	
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>行事ごとに、団活動を通じ活動場所の安全と衛生を保持する指導を徹底させる。</p>	B
<p>指標 担任・生活指導部・部活動顧問・生徒会の協力を得て、指導に取り組む。</p>	
<p>取組内容③【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>一人一人の生徒の成長に関わることのできるように、教職員間の連携を強め、情報や対応の仕方について協議を重ねながら共有できる体制づくりをする。</p>	B
<p>指標 生徒指導関係者会議、成績会議、定例の職員会議など機会に、情報を共有する機会を持つ。</p>	
<p>取組内容④【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>感染症など広く健康について知識を持ち、かつ生涯にわたってよりよく生きるために、ソーシャルスキルを含めた基本的な生活習慣の定着と、MHL(メンタルヘルスリテラシー)教育の充実・促進を図る。</p>	B
<p>指標 学校保健委員会でテーマとして取り上げる。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(7)〔人権教育推進委員会〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>限られた時間で、時代のニーズに即した身近な問題を取り上げるなど、生徒の実態に応じた人権教育を推進する。</p> <p>P T A人権委員をはじめ保護者や地域との連携をはかり、さまざまな人権問題についての啓発をめざして、講演会等の研修会を実施する。</p> <p>教職員間での人権意識の向上をめざして、講演会等の研修会を実施する。無理であれば、全校一斉の人権学習講演会に参加してもらう。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>L H Rを利用して、各学年に適した人権問題を絞り込んで取り組みをおこなう。</p> <p>指標 人権教育の年間指導計画より削減はせざるを得ないが有効的に実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>可能であれば全校一斉の人権学習の機会を利用して保護者にも参加をうながす。</p> <p>指標 可能であれば年1回以上実施する。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>可能であれば全校一斉の人権学習の講演会に教員も参加をして、研修をおこなう。</p> <p>指標 可能な限り全教職員が参加する。</p>	C

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(8) [英語科]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 授業などで異文化理解の大切さを理解させ、姉妹校への語学研修やホームステイ申込者数を、前年度より増やす。</p> <p>② 英語をより実践的に使えることをめざす教育を充実させ、訪問団との交流の参加者数を、前年度より増やす。</p> <p>③ 英語で発信することの意義を学ばせ、スピーチコンテストなどへの参加者数を、前年度より増やす。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>CNET との授業や、異文化理解を促す教材を用いて、異文化理解を深め、個人やグループで世界の様々な問題を話し合い、自らの意見を発信する機会を増やす。</p> <p>指標 少人数セミナーで、文化の違いを尊重しあえる授業案を作る。また、姉妹校交流等への積極的な参加を促す。</p>	B
<p>取組内容②【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>授業で積極的に英語を用いてコミュニケーションをする活動を増やし、海外からの訪問団受け入れの際に積極的に交流に参加できるようにする。</p> <p>指標 授業でペアやグループ活動を増やし、コミュニケーション力を高める。</p>	B
<p>取組内容③【施策6 多文化共生教育の推進】</p> <p>スピーチ活動やディスカッション活動で、自分の意見を英語で発信する意義を学ばせ、その能力を養う。</p> <p>指標 少人数セミナーで、スピーチやディスカッションの活動を多く取り入れる。また、スピーチコンテストへの積極的な参加を促す。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(9) 〔流通経済科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 校外活動への参加生徒、提供する機会を増やす。（見学会・講演会・実習・コンテスト・発表・インターンシップ・高大連携企画 参加者各学年10名以上）</p> <p>② 「ビジネスマナー」や「マーケティング」などの科目を通して、自主的に課題を見つけ、イベントや販売実習などの企画・実施・総括までを行う。アクティブラーニングを多種多様に取り入れ、実際に地域や企業などの協力を得て活動し、科の取り組みについて地域や中学校での認知度を高める。3年次に学科全体で取り組む。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>多種多様なアクティブラーニングを取り入れる。外部講師による講座を積極的に取り入れ、通常授業では得られない体験をさせる。また、地域でのイベントや販売実習を通じて、接客マナーを学ぶとともに、問題解決能力を身につける。地域や企業などの協力を得て活動し、コミュニケーション能力を育成し、かつ本校の流通経済科の活動について認知度を高める。</p> <p>指標 講演会や販売実習など合わせて年3回以上実施する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>校外の活動や本校独自の高大連携事業を活用して、大学の見学会や体験講義に参加させる。また、各大学で行われるコンテストなどにも積極的に参加させる。生徒が大学教育に興味・関心が持てるように、進学を希望する生徒の目的意識を高める。</p> <p>指標 大学の見学会、講演会、コンテストなどに10名以上の生徒が参加する。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>体験授業、学校説明会などの体験学習に在校生をアシスタントとして参加させる。実習を通じて、在校生自身で本校の学習内容等を伝えることによって、在校生のプレゼンテーション能力を高め、中学生の本校への理解が深められるようにする。</p> <p>指標 在校生10名以上が参加する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(10) 〔情報科学科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 授業や実習を通じて、ネットワーク時代の情報管理と取扱いのモラルについて意識させる。</p> <p>② ネットワーク通信の仕組みを理解することにより、安全かつ合法的な利用方法を習得させ、自己理解、他者理解を通じて道徳心の育成を図る。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 人権を尊重する教育の推進】</p> <p>SNSを利用する際に発生する人権に絡む事象や知的財産権について、いくつかの事例を挙げながら、利用者の視点だけではなく技術的な側面からも理解させる。</p> <p>指標 SNSに絡んだ問題事象を減少させる。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>ネットワーク通信の技術について正確に理解させるとともに、それを管理する者の責任と義務についても自覚させる。また、道徳教育・キャリア教育を意識した実践を行う。</p> <p>指標 情報技術についてモラルを守った上で有効に活用できているか確認する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(11)〔教育情報科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 教育探究の授業において生徒間でコミュニケーションをとる機会を増やし、様々な分野にわたる興味関心を深め、リーダーシップの醸成を目指す。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の推進】</p> <p>教育探究の授業において、生徒間のコミュニケーションをとる機会を多く設け、安心して発言できる環境を作る。さらに、自己理解、他者理解を深める内容を計画する。</p>	B
<p>指標</p> <p>生徒が授業内で自由に積極的に発言できる雰囲気ができている。 自分の興味関心がどこにあるのかを意識する生徒を増やす。</p>	
<p>取組内容①【施策5 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)の推進】</p> <p>教育探究の授業において、クエストエデュケーションを核として取り組み、生徒の興味関心がある分野への意識を深めていく。</p>	B
<p>指標</p> <p>自分の興味関心がどこにあるのか意識する生徒を増やす。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(17)〔保健体育科〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>①用具の点検や授業の準備を協力して行うことで、安全な環境づくりへの意識を高め、正しいストレッチの方法を理解し、怪我の防止に努める能力を高める。</p> <p>③ 実技授業をとおして、集団と個人の特性を理解し、規範意識や協調性を向上させる</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全教育の推進】</p> <p>用具の点検や授業の準備を協力して行うことで、安全な環境づくりへの意識を高め、正しいストレッチの方法を理解し、怪我の防止に努める能力を高める。</p> <p>指標 安全管理に対する意識の向上について確認する。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>実技授業をとおして、集団と個人の特性を理解し、規範意識や協調性を向上させる</p> <p>指標 友人との声かけを積極的に行うことで、他人とのコミュニケーション能力向上について確認する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(19) [1 学年担任団]

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 学年団と学科長の4人で教育相談体制を充実させ、常に生徒80人に4人のうちの誰かが目を届かせておき、適切なタイミングで適切な声掛けができる状態を作っておく。</p> <p>② 学校行事やホームルーム活動、教育探究の授業を通して、自己理解、他者理解を深め、自発的に集団を意識した行動ができる力を養う。</p> <p>③ 保護者や関係部署との連携を密にするため、機会を作り、生徒の変化に迅速に対応できる体制を整える。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>ホームルームを3人の担任団で回す。生徒たちには学科長を含めた4人全員が自分たちの担任であるという意識に持っていき、相談しやすい教員にそれぞれが相談ができる状態にする。4人の教員も80人全員の担任であるという意識を持ち、4人のうち誰かが、生徒の変化やサインに気付けるようにする。</p> <p>指標 80人の生徒の情報を4人の教員が平等に認識している状態にする。 年間生徒1人につき最低2回の個人面談を実施する。</p>	B
<p>取組内容② 【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>学校行事やホームルームの中で自分と異なる考え方の存在を理解するよう働きかける。教育探究では自己理解、他者理解を深め、コミュニケーションの練習を行う。</p> <p>指標 集団の意味を理解し、各個人が自分の役割を把握して、自発的に集団活動に参加する。80人全員がクラブ活動、生徒会活動、課外活動などの集団活動に参加する。</p>	B
<p>取組内容③ 【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>保護者や関係部署との連携を密にするために、3者面談を全員と1度は実施する。ICTを活用した保護者への情報提供の徹底。</p> <p>指標 指導方針の理解と協力をいただけるように、各学期に教育相談を実施する。定期的に学年通信を発行する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(20)〔2学年担任団〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生としての「マナー」をしっかり身につけ、自発的に「ルール」「時間」「約束」を守ることができる人間形成を行う。欠席・遅刻を減らせるよう自己管理を徹底させる。 ・学校行事・部活動など、特別活動へ積極的に参加し、上級生としてふさわしい集団行動での自主性や協調性、リーダーシップを身につけさせる。 ・日頃から保護者や地域社会および関係部署との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時には、状況の把握、迅速な対応、円滑な解決に努める。 	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>様々な場面でルール、マナー、時間、約束を守ることの大切さを指導する。また、自己管理によって基本的生活習慣が確立できるよう指導する。</p>	B
<p>指標 昨年度よりも遅刻、欠席の数を減少させ、年間精皆勤率 60%以上をめざす。</p>	
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>学校行事・部活動など、特別活動への積極的な参加を促し、その活動の中で、上級生としてもふさわしい自主性や協調性、リーダーシップを発揮できるよう指導していく。</p>	B
<p>指標 各行事への積極的な全員参加と、全体をまとめるリーダーの出現。団活動で上級生を補佐するサブリーダーの出現。2年生からの部活動への加入を勧める。</p>	
<p>取組内容③【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>日頃から保護者や地域社会および関係部署との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時には、状況の把握、迅速な対応、円滑な解決に努める。</p>	B
<p>指標 保護者との適宜の連絡や懇談の実施。学年会・生徒指導部などとの適宜の連絡会の実施。問題発生時の迅速、的確な各部署との連携。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(21)〔3 学年担任団〕

評価基準 A…目標を上回って達成した B…目標どおり達成した C…取り組んだが、目標を達成できなかった D…ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>① 自主的で良好な基本的生活習慣の確立をめざす。</p> <p>② ホームルームや学校行事等の日常生活を通じてルールやマナーを守り、社会性を身につけた人格を育成するよう指導していく。</p> <p>③ 様々な活動を通して、最高学年としてふさわしい集団行動での自主性やリーダーシップを身につけさせる。</p> <p>④ 保護者や関連各部署及び地域社会との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時の迅速な対応と円滑な解決に努める。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策7 健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>自主的で良好な基本的生活習慣を確立し、遅刻・欠席を減少させ、自己管理を徹底させる。</p> <p>指標 心身の健康管理の大切さとその方策を伝える。また各クラスにおいて遅刻、欠席の減少をさせ、自己管理を徹底させる。年間精皆勤率 60%以上をめざす。</p>	B
<p>取組内容②【施策2 道徳教育の推進】</p> <p>ホームルームや学校行事等の日常生活を通じてルールやマナーを守り、社会性を身につけた人格を育成するよう指導していく。</p> <p>指標 挨拶や正しい言葉遣いを徹底させ、安全で快適な校内環境の維持をする。また登下校中の交通事故等をなくす。</p>	B
<p>取組内容③【施策2 キャリア教育の充実】</p> <p>部活動・生徒会活動・団活動を通して、最高学年としてふさわしい集団行動での自主性やリーダーシップを身につけさせる。</p> <p>指標 最高学年の上級生として下級生への模範となる意味でも、各行事への全員参加を促す。</p>	B
<p>取組内容④【施策3 保護者や地域住民に開かれた学校園の運営】</p> <p>保護者や関連各部署及び地域社会との連携を密にし、問題行動を未然に防ぐとともに、問題発生時の迅速な対応と円滑な解決に努める。</p> <p>指標 学年会と生徒指導部との連絡会を通じて適宜懇談を実施することで、迅速で的確な指導を徹底する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点